

事業者向け 令和3年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			* 現在のところ十分なスペースが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		* 児童指導員の配置基準に従ってシフトを組んでいる。送迎時も2人ずつ車に乗っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		* 避難経路で裏口が段差がある事が気になっているが、車いすで段差を乗り越えられないわけではない。 * 裏玄関・洗濯室・シャワー室横の出入口は常に使用はしていないが、段差がある。
	4	それぞれのスペースにおいて、コロナ感染対策は充分に行われているか	7			* 消毒をする時刻を決め、定期的に行っている。換気も心掛けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1		* 「PDCAサイクル」という言葉は直接使用していないが、目標設定や振り返りなどの行動は職員に浸透している。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			* 今年度も保護者向けアンケートを実施した。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			* 飛騨市社協ホームページや広報誌「福祉ひだ」に掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		6	* 第三者評価は行わない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			* 飛騨圏域発達障がい支援センター「そらいろ」の方を招き、研修を行った。(7月)
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			* アセスメントを丁寧に行い、保護者や子どものニーズを反映して個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			* 「福祉協会ASP」のソフトを使用し、そのアセスメントシートを利用している
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか(目標)	7			* 職員で話し合い、相談しながら決めている。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			* 目標を立てるとき、達成しているかどうか職員間で確認しながら進めている。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			* 休日や長期休暇にしかできない支援のあるので、平日とは変えて設定している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		* 一人ひとりの状況に応じて作成できている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			* 毎日できている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		* 日誌の記入時に、お互いに確認している。休んでいた職員とも後日情報共有している。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			* その日に支援目標に対しての記録を取るよう心掛けている。

	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			* 行っている。
	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6	1		* 行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			* 児発管が出席している。
	22	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			* 神小には、週ごとに送迎表を渡している。それ以外の学校とも行事確認、トラブル時の対応など情報共有している。
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1	1	* 現在は医療的ケアが必要な子どもは来ていない。
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			* ことばの教室が当施設の2階にあるため、密に情報共有できる。
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			* ピース、吉城福祉会などと情報共有できている。
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			* 「そらいろ」さんの研修を受けている。地域生活安心支援センター「フラット」とも連携している。
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			7	* 今年度もコロナ禍であり困難である。 * コロナ禍で交流は難しい。
	28	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			* 児発管が子ども部会へ参加している。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			* 子どもの迎え時やアセスメントをとる時など、多くの関わりの中で話し合っている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			* 10月に「そらいろ」さんを招き、保護者向けの研修を開催した。
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			* 契約時に説明している。
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			* 行っている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1		* 今年度は10月にいきぬきカフェを開催した。
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			* 玄関外にご意見箱を設置している。 * 苦情対応体制も整っている。
	35	施設内での活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		* 事細かく話してはいるが、送りが多くなった今年度は親さんに発信できないことが多くなった。 * 利用時に保護者や子どもに口頭で話すことは多いが、利用されていない方には全て行き届かないこともある。
	36	個人情報に十分注意しているか	7			* している。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			* 視覚支援や丁寧な説明など心掛けている。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	6	* 今年度もコロナ禍であり困難である。 * コロナ禍という事もあり、地域住民との交流の機会を設けていない。 * 地域交流は行っていない。

非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		* 玄関に見やすいように掲示している
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			* 定期的に行っている。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			* 毎月チェックしている。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			* やむを得ない場合については、保護者と十分に話し合い、個別支援計画書に記載している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			* おやつ時などに個別に対応している。(現在2名該当)
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			* している。

<改善点>

35 …施設内での行事や活動内容などは、毎月お渡ししている翌月の利用申込書に添えて伝えていきます。

38 …現在はコロナ禍のためできないが、コロナが落ち着いたら検討していきたいと考えています。